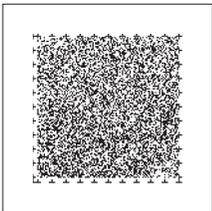


## トイレが使えないときの 簡易トイレの作り方

- 
- 1 便座を上げて、45ℓのゴミ袋の中に敷く（便器内の水はそのままで）。養生テープがあれば、袋のふちを便器に貼って固定します。
  - 2 便座を下げて、便袋（便器にセットできる大きさの袋）をセットします。
  - 3 利用する前に新聞紙や紙おむつを便袋の中に入れ、便を吸収させます。または、利用後に市販の凝固剤などをふりかけます。

- 
- 4 便袋を取り出して、口をしっかりしばります。
  - 5 便袋を黒いゴミ袋や消臭袋に入れて、汚物ゴミの回収があるまで保管しておきます（便袋は各区市町村の決まりにしたがって処理）。



トイレが使えないときに  
必要な物は？

地震で自宅の排水管や道路の下水道管が損傷すると、汚水が逆流したり、損傷したところから噴出することもあります。特に集合住宅では、下の階の住戸で汚水が逆流する場合があります。災害時には排水管の損傷がないことを確認できるまでトイレを使わないようにしましょう。

そのため、備えが重要になるのが、非常用トイレ。市販の物を用意する以外に、次のような方法でも非常用のトイレが作れます。

## （トイレが使えないのために準備しておく物）

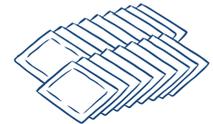
### 45ℓのゴミ袋

黒い袋なら汚物が見えないのでストレスを減らせます。[1日の目安：数枚]



### 便を吸収・凝固するための物

市販の処理剤のほか、新聞紙、紙おむつなどでも代用できます。[1日の目安：1人5～7回分]  
※トイレには流せません。



### 便器が壊れているときなどは

厚手の段ボール箱、大きめのバケツなどで代用できます。

